きりすとこどもえん 9月園だより きりすとこどもえん

２０２３年度 年主題〈ともにつむぎだす～希望の中で～〉

0･1･2歳児９月主題 「あそぼう」「やりたいようにやってみる」

月のねがい

◎お祈りやさんびかを真似ようとする。
◎興味が広がり、のびのびと身体を動かす。
◎神さまのお話を聞き、親しみをもつ。
◎保育者や友だちと一緒が嬉しくなり、自分の思いを表して遊ぶ。
◎季節の変化に気付き、風や雲、虫や草花などに興味をもつ。

3･4･5歳児９月主題 「おもしろい」

月のねがい

◎生活の中で、心を動かし、神さまに愛されていることを感じる。
◎好きな遊びの中、面白いという気持ちや、友だちといる楽しさを重ねていく。
◎神さまが望んでおられる平和を祈りあい、一人ひとりに賜物が与えられていることに感謝する。
◎残暑の中にも秋の訪れを感じ、友だちや保育者と一緒に関心を深めようとする。

今月の聖句

「あなたの恵みをわたしは楽しみ、喜びます。」

詩篇 31:7

今年の夏、第105回全国高等学校野球選手権記念大会（甲子園）は、慶應義塾高校が大旋風を巻き起こし、107年ぶりに全国制覇を果たしました。猛暑の夏に、熱い戦いを繰り広げて多くの感動を与えてくれました。

とても印象に残ったのは、決勝戦を戦った慶應義塾高校の森林貴彦監督と仙台育英高校の須江航監督の言葉でした。慶應野球の特徴は、「自由な髪形」「監督と選手の距離の近さ」「大学生コーチが指導」などで、モットーは自由を重んじる「エンジョイ・ベースボール」でした。森林貴彦監督は優勝を決めた後、歓喜に沸く選手たちにこういう言葉を送りました。「この優勝の経験が、彼らの人生におけるピークでないことを望みます」。つまり、甲子園の経験は彼らが人間として成長していく上での一過程にすぎないこと、その経験をこれから長く続く人生の中で生かしてほしいとの期待の発言でした。片は、惜しくも二連覇を逃した仙台育英高校の須江航監督の口癖は、「人生は敗者復活だ」だそうです。何か成果を得られる時は負けから始まるということを教え続けました。

高校球児たちが辛い練習の中でも、楽しさや希望を持ち続け、それを人生の糧とすることが出来るのは、そのような素晴らしい指導者がいたからだろうと思います。「恵み」という言葉は、苦しみの中でも楽しみや喜びを見出させてくれるものです。私たちも「エンジョイ自分の人生」「人生は敗者復活だ」と言えるのです。

協力牧師　池田基宣

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は，R3.1~12 期の所得額によって算定されております。R4.1~R4.12 期の市民税額における階層の変動に伴い，市による利用料の見直しが行われます。
９月分より保育料･給食費が変更になる世帯もあります。市より送付の利用料決定通知書でご確認下さい。

９月の行事予定

1 日（金）	始園式（1 号午前保育）
5 日（火）	誕生会（2 才以上 8･9 月生）
12 日（火）	幼保小連携公開保育
14 日（木）	おすもう大会（3･5 才児）弁当
15 日（金）	おすもう大会（4 才児）
16 日（土）	役員会
27 日（水）	運動会予行練習･弁当日

１０月の行事予定

7 日（土）	第 66 回運動会
9 日（月）	運動会予備日
10 日（火）	振替休日（1 号）
14 日（土）	役員会
19 日（木）	秋の遠足（3･4･5 才児）
20 日（金）	秋の遠足（0･1･2 才児）
21 日（土）	めぐみ誕生会（10~12 月生）
26 日（木）	おにぎり･ｽｰﾌﾟﾊﾟｰﾃｨｰ
28 日（土）	父母会おまつりごっこ

ぼくらはきりすと探検隊

セミの鳴き声が響き渡る夏も、こども園では朝から子どもたちの「セミがいた！」「アブラゼミ？」「トカゲがいた！キリギリスも…」と、虫発見の声があちらこちらで聞こえてきます。久々に朝の自由遊びにブランコが登場した日。早く乗りたくて順番関係なく「Nも！！」とブランコにやって来た2歳のNちゃん。友だちとの交代も、まだまだ揺られていたくて「いや！」の連続でしたが、保育者と一緒に次の順番を待つことに。そこで、「20まで乗ったら交代だね。Aちゃんの次、Nちゃんだね」と実況しながら伝えていくと、待ちに待ったNちゃんの番になりました。「…18,19,20。はい交代！」の声に、自分からブランコを降りて交代することができました。"イヤイヤ期"の子どもたちへの声掛けは観察と知恵と忍耐です。どうしたら気持ちをスッキリさせて、自分から動き始めるのか？寄り添ったり、一歩引いてみたり。その子が動きだす"きっかけ作り"や"魔法の言葉"を見つけながら一緒に過ごす毎日です。　いよいよ、大きな行事が待つ2学期がスタートです！まだまだ残暑厳しい中ですが、早速、運動会の練習が始まります。今年度のテーマは『ぼくら探検隊』です。朝の自由遊びでは虫探し、お散歩での猫探し…など、遊びながら探検隊になりきる子どもたちです。保育者も日々、子どもたちに届けたい言葉と伝えたい想いを探している探検隊とも言えます。色々な探検を楽しみながら、一つ一つの行事やイベントを楽しんでいきたいと思います。

2学期も引き続きよろしくお願いいたします。

主任　伊豆元

＝子どものつぶやき＝

エピソード①

「象の鼻は長いでしょうか？短いでしょうか？」のクイズに「う～ん、細い！！」と2才児のY君。確かに～✨

エピソード②

トイレトレーニング中のひかり組。午睡前にトレーニングパンツのお友だちはトイレに行くのですが、「なおこ先生は今日パンツ？オムツ？」と聞く○君。「えっ？なおこ先生？パンツだよ！」の声に、「ふ～ん…」との返事が。なおこ先生はまだオムツだと思っていたのかな（笑）

ウェルビーイングに向かって

数年どおり、台風と酷暑の続いた八月でした。皆様、如何お過ごしでしたでしょうか。暑い中にあっても、久しぶりにご家族で楽しい時間を満喫されたかと思います。

この時期、海や山など自然の中で過ごされたご家庭もおありだったかと思います。太陽の光を浴び、水や砂の感触を味わう。森の中で木々の香りやせせらぎの音を楽しむ。親子でその喜びに浸ることは何と素晴らしいことでしょう。「センス・オブ・ワンダー」で著者レイチェル・カーソンはこう書いています。「私たちが住んでいる世界のよろこび、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、少なくとも一人、そばにいる必要があります。」と。子どもたちに関わる大人のひとりとして身が引き締まります。様々な体験をとおして、キラキラ輝く感性が豊かにあふれる幼児期こそ、本当に必要な経験と環境を与えたいものです。

最近よく耳にする言葉に「ウェルビーイング」があります。皆さんも聞かれたことがおありかと思いますが、直訳すると「幸福」「健康」という意味の well-being です。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。人の生き方全体に関わるキーワードですが、教育・保育においても、世界的に非常に重視されている考え方です。これまで、家庭においても教育の世界においても、何かが「できる」ことが、発達の証のように捉えられる傾向が見られました。また、情緒的な面でも、教えることによって思いやりなどを育てようとする向きもあります。すべて子どもの幸せを思ってのことなのですが、本質的な発達の姿を見誤ると、生まれながらにして備わった感性を奪うことにもなりかねません。本来、「発達」とは、自ら生きることへの意欲の現れであり、日々育ちゆく過程そのものではないでしょうか。まさに「あそび」中でも「心の発達」は、外部からの情報より内側からの振動が育てるものだと思います。時として、我々保育者も「結果」や「達成」に重きを置いてしまうことがあります。そのことも確かに大切なことではありますが、子どもの心に起こっていることや育とうとしていることに気づくことを幼児期にはより大切にしていきたいと思います。

120年ほど前、エレン・ケイという人が『児童の世紀』という本の中でこう書いています。「子どもを育てるということは、子どものなかに生きる喜びと希望を育てること。子ども人間として生きることの喜びと希望を学ばせたい」と。二学期は運動会からクリスマス会まで様々な行事や活動が計画されています。子どもたちが遊びの世界を広げながら、「やるべきこと」と「やりたいこと」を自分の中に受け入れられるよう励ましていきたいと思います。

まだまだ感染症も油断ができません。残暑が厳しい毎日ですが、そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝･早起き･朝ごはん･朝ウンチで、親子共々元気でいきましょう。行事の多い二学期も、引き続きご協力をお願い致します。

学園長

遊びを通して指先機能を育む

一般的に２才児時期になると、運動機能の発達にともなって手の機能も発達し、細かい動きができる（技巧性の向上）ようになってきます。指先をたくさん使うと、色んな動きができるようになるだけでなく、脳が刺激され、「集中力」「思考力」「記憶力」「言葉を操る力」「運動機能」が発達します。

箸を使う、ボタンを留める、鉛筆を持って字を書くなど、指先を使う動作は生活の中に溢れています。園ではそれらを遊びを通して獲得していけるように遊びを組み立てています。

○シール貼り

シールを剥がして貼るという動作を繰り返すと、指先と脳の神経伝達を何度も行い集中力が身につきます。

○粘土遊び

こねる時は”手のひら全体を使い”細かい部分は”指先をつかって”というようように手の使い方を学んでいきます。

○製作あそび

のり付けしたりハサミで切ったりと、パーツを調整しながら持ったり角度を変えていったり集中力を高め完成をイメージし思考力が育ちます。

○ブロック・パズル遊び

いろんな形や色をはめ合わせ、完成に期待しながら、記憶力と集中力を高めていきます。

子どもたちは 遊ぶ楽しさに支えられることで、集中力や意欲が高まっていきます。指先を使った遊びをたっぷりと楽しむことで、子どもたちの発達を促していきます。字が書けるようになるとか、箸を使って器用に食事を取れるようになる前に、十分な指先の遊びも担保してあげたいものです。

園長